

# 平成29年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成30年4月1日
研究・研修課題名	呼吸治療専門臨床工学技士取得の為の研修補助
研究・研修組織名（所属）	呼吸治療専門臨床工学技士取得の為の研修補助
研究・研修責任者名（所属）	明徳一広（MEセンター）
共同研究・研修実施者名（所属）	明徳一広（MEセンター）

## 目的及び方法、成果の内容

### ①目 的

呼吸治療専門臨床工学技士取得を目的とする

### ②方 法

臨床工学技士会が主催する呼吸治療専門臨床工学検定試験の講習ならびに受験を行う講習会

日時：平成29年9月22日～24日

会場：ソラシティカンファレンスセンターRoom C(東京)

試験

日時：平成30年3月3日

会場：東京大学

### ③成 果

人工呼吸器を含め、呼吸療法の分野は年々変化してきている。以前は、従量式が主で行われてきたが、現在では従圧式での管理が主になってきている。また、ICU治療の中で肺保護換気を目的としたAPRV、PAVなど新しいモードや治療方法も開発されてきている。その中で、臨床工学技士が院内での呼吸管理に関して医師・看護師と同等かそれ以上の知識を求められている。今回の指定講習会は、以下の内容であった。

1. 人工呼吸器の換気モード
2. 急性期人工呼吸下の呼吸管理
3. 呼吸療法に必要な解剖・生理
4. モニター
5. 鎮痛と鎮静
6. 循環整理
7. 術後呼吸管理
8. 人工呼吸器関連肺炎
9. ECMO
10. 慢性期人工呼吸下の呼吸管理
11. 呼吸機能検査
12. 酸素療法と加温加湿
13. 人工呼吸器の設定
14. 胸部理学療法
15. 呼吸不全の病態生理
16. 胸部画像の読影
17. 呼吸療法におけるフィジカルアセスメント
18. 新生児・乳児の呼吸管理

現在、日本の第一線で呼吸療法に関わっている医師と臨床工学技士が行う講習会であった。これは、最先端の人工呼吸に関わる内容であり、すぐに臨床に応用できるものである。また、臨床工学技士がメインの講習会であるために、臨床工学技士の視点からどのように人工呼吸に関わるべきなのか、知識などもトップクラスの内容である。今後は、この内容をふまえて当院の呼吸管理のレベルを少しでも向上させたいと考えています。